

令和 4年度 施策評価シート（令和 3年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 03 道路網・公共交通体系の整備
主管課： 建設課
関係課： 都市計画課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	市民が安全で快適に移動できるまちをつくる。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

市内の道路は安全に通行できると感じている市民の割合							(%)	建設課
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）		
71.70	77.90	74.50	70.30	75.90	75.10	75.00		
向上指針	上がると良い	（状況）前年度より、0.8ポイント減少しているが、目標値より0.1ポイント上回っている状況です。 （原因）道路補修や安全施設設置について迅速かつ適切に対応しているが、年々、交通量の増加により市民が危険と感じる箇所も増加していると思われる。						
対前年度	横ばい							
目標達成度	達成							
次年度課題	課題とする							

公共交通に対する市民の満足度							(%)	都市計画課
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）		
48.60	49.30	48.40	45.30	47.70	48.20	57.00		
向上指針	上がると良い	（現状）前年度より、0.5ポイント増加しておりますが、基準値より0.4ポイント低く目標を大きく下回りました。 （原因）鉄道に対する満足度は高水準を保っていますが、バスに対する満足度が低水準となっています。バスの運行ルートの見直しや便数の増加等に対する要望も少なくなく、すべての利用者のニーズに応えられない状況も一因であると推察します。						
対前年度	横ばい							
目標達成度	低							
次年度課題	課題とする							

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	833,864	1,629,434	1,899,477	2,294,667	1,197,021
人件費	62,352	50,482	30,825	0	0
トータルコスト	896,216	1,679,916	1,930,302	2,294,667	1,197,021

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
01 未改良道路の整備	向上	向上				156,255	429,323	233,911	723,529	652,278
02 道路の適切な維持管理	低下	低下				324,484	500,705	651,820	414,774	452,664
03 都市計画道路の整備	向上	向上				288,199	614,599	920,219	1,053,631	11,000
04 公共交通網の充実	向上	向上	横ば	横ば		55,450	77,151	84,280	91,816	80,605
99 施策の総合推進						9,476	7,656	9,247	10,917	474

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

都市計画道路については、街路事業費補助金が要望どおり配分され、用地の買収が順調に進みましたが、今後さらに事業を推進する必要があります。また、橋梁長寿命化修繕計画に基づき荻久保橋大等2橋を修繕を実施しました。つくばエクスプレスについては、8両編成化についての事業が進められており、引き続き鉄道会社や国等へ東京駅延伸や通学定期割引率拡大について働きかけを行っていきます。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

都市計画道路については、都市構造再編集集中支援事業交付金等を活用し、用地の取得を進め更なる整備促進を図ります。 つくばエクスプレスについては、東京駅延伸や通学定期割引率の拡大、8両編成化の早期実現について、引き続き鉄道会社や国等に対し働き掛けを行っていきます。 バス交通については、モコバスやデマンド乗合交通について、利用者からの要望等を踏まえながら、効率的で利便性の高い交通を目指し、随時見直しを行います。	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

次年度の方向性

都市計画道路については、都市構造再編集集中支援事業交付金等を活用し、用地の取得及び工事を進め更なる整備促進を図ります。 つくばエクスプレスについては、東京駅延伸や通学定期割引率の拡大、8両編成化の早期実現について、引き続き鉄道会社や国等に対し働き掛けを行っていきます。 バス交通については、モコバスやデマンド乗合交通について、利用者からの要望等を踏まえながら、効率的で利便性の高い交通を目指し、随時見直しを行います。	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減